

新高退通信 No.144

HP : shin-koutai.jimdo.com mail : shin.koutai@gmail.com



初夏の大野亀(佐渡高校寄贈) F20号／油彩

6月の大野亀はトビシマカンゾウの群生で神秘的な雰囲気を醸し出し、この世のものとは思えない世界となり感動的です。15年ほど前、日帰りハイキングで訪れ、以降10枚以上制作し私の生涯のテーマ作となりました。

これは新潟高校に講師として勤務していたときに、制作過程の実演として例示制作した作品です。最後は自宅で完成させました。

新潟支部 仲田彰夫(12)



発行所／新潟県高等学校教職員組合／新潟市中央区川岸町2-11／TEL (265)4151/FAX (231)1036／1部10円
(購読料は組合費に包含)

発行人 遠藤 丞

2022年12月1日
号外

新潟県高等学校
退職者の会

事務局
〒951-8133
新潟市中央区川岸町2-11-4
(高校会館内)

退職者の会専用電話
025-265-1110

「退職後10年の小さな自分史」の原稿を依頼しましたが、昨年加入の際に「新会員からのたより」で原稿を頂いていますので、代わりに作品を提供して頂きました。

2年に無事に定年にたどり着くことができました。この時は本当に安堵しましたが、あれから10年がいごく軽い後遺症で済み、2012年に病院で脳梗塞を発症してしまいました。幸運で骨髄移植を受け、何とか職場復帰したものの、退職直前に脳梗塞を発症してしまいました。幸運に軽い後遺症で済み、2012年に無事に定年にたどり着くことができました。この時は本当に安堵しましたが、あれから10年が経つんですね。早いなあ！

退職後は勤務校であつた母校、県央工業同窓会の事務局長として、毎日学校に出勤して2013年に100周年事業を行なった。集団予防接種によってB型肝炎のキャリアであった私は、2014年に原告団に参加して、主に患者講義を担当しています。この取り組みは大学、専門学校、高校、中学校に弁護士と患者が出向いて講義を行うもので、高校では県央工業、柏崎常盤、新津工業などで人権教育の一環として行いました。大学では医療系の学部で、専門学校では看護系で行なっています。中学校では「集団予防接種の注射器の使い回しによって感染が拡大



県央支部
吉田光二

(12)

今日までの10年間

在職中の20
09年に血液疾患で骨髄移植を受け、何とか職

した」という歴史的事実が公民の教科書に2021年度より掲載され、副読本「B型肝炎のちの教育」を厚労省が無償で配布。中学校での患者講義の希望を厚労省が直接受け付けて原告団に連絡が来るという仕組みで、全国の中学校で取り組みが始まっています。先日は福島県郡山市の中学生に話をしました。関心のある方はご連絡をお願いします。

2014年に大先輩から高圧力の勧誘を受けて、余生を「社会への恩返し」と思つて保護司を拝命し、微力ですが更生保護の取り組みに参加しています。

そしていま、来年が母校の110周年ということで準備をすすめています。

そんな日々ですが、何とか時間を見つければ、35年間の山岳部顧問の成れの果てで里山登山に出かけています。今年から宇佐美博康さんと有坂勝さんが時折同行され、お二人とも社会科ですから里山の歴史などを勉強させてもらっています。残念ながら聴いてもすぐに

忘れてしまっていますが……。
これが私の10年間でした。

それでも結構楽しく

新潟支部 二保日出男(12)



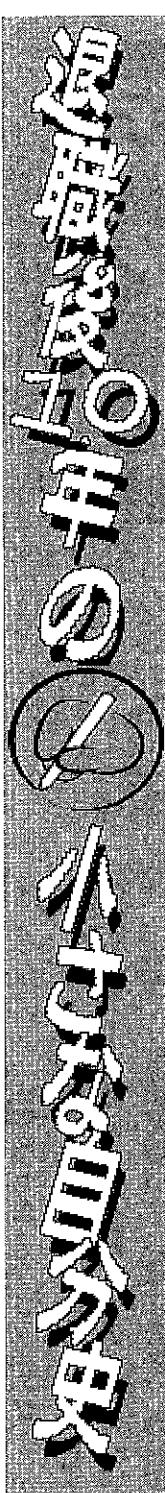
しまう。その結果人に迷惑をかけたことも何度かあった。断れない理由は、断ると人間関係が壊れそうで、それが怖いからだ。せっかく自分を頼ってくれた人に無下に断ることなどできない。だから、つい引き受けてしまう。自分で言うのもなんだが、お人好しで、何よりも小心者なのだ。

退職してから非常勤で教員をやつた。でも、3年で辞めた。非常勤という立場は学校のなかではほとんど疎外されている。何より、たまにしかいない教員には生徒との密な関係は築けないと感じたのだ。集団の中で孤独であることは、耐えられない苦痛である。

そんな中、ソフトボーラー協会から手伝えという話があつた。初任校で世話をなつた先輩の元教員の紹介だという。この人からの話は断れない。最後の学校でソフトボール部を持つたといきさつもあつた。大会運営などを手伝つていたら、そのうち審判もやることになり、いつの間にか事務局長になりました。残念ながら聴いてもすぐに何か心に引っかかる。確かに断れない性格だ。大した能力もないのに、頼まれると何でも引き受けて

まつた。とはいって、マスクを被つてグランドに出ていると、選手と一緒にゲームを作つていると実感できて、充実感で熱くなる。

退職したら退職者の会には入るうと思つていた。世話になつた先輩の方々と付き合えば、きっとと楽しい老後になるに違ひない、と思つたのだ。たまのカラオケ、たまの飲み会、たまの料理教室。なんとストレスのない生活だろう。と思つていたら、ある時、新潟支部の事務局の話が出てきた。その時の支部役員の任期が長くなつたので総替わりをするという。代わりがいなければ支部は解散するといふ話まで出て、当時の他の役員が慌てた。たよりの編集だけをしてくれれば良い、事務局長という名前だけでよい、という電話がかかってきた。せつかくののどかな生活が吹っ飛んでしまう、だから絶対断ろうと決めた。しかし、電話をくれたのが、この人からの頼み事は断れないと皆が認める人で、氣の弱い私が断れるはずがない。



結局は引き受けることになつたが、そのうち、支部だよりの出来が良いと言わると、お世辞だと分かっていても、うれしくて妙に張り切るようになつた。

(昭和38年1月9日)
(第三種郵便物認可)

(毎月1回15日発行)



キョウヨウが必要

新発田村上支部

菊田正喜
〔12〕

現役最後の1年
年前、残り半年
となつてカウン
トダウンを始め

集会で忙しいかと聞いてきた友人に、今答えよう。「とても忙しい。柿山の手伝いまでしているから、まつたく暇がない。だから後は何が来ても断固断ることにする。ただし、結構楽しくやっている。頼られることはうれしい。70才になつても、頼られて、忙しくて、それでも楽しいと感じられるのは、幸せなことではないか。」と。

でも役員交代となり、案内はがきの作成係をやれという話が来た。その程度なら波風を立てるほどではないだろうとつい引き受けてしまつた。歌はともかく、案内はがきの出来が良いと、スナックのママさんから褒められた。ここでもそれがうれしくて、変に頑張つてしまつている。

退職者の会では、カラオケ同好

てからバタバタ生活が始まった。

暮れに妻の母親の入院そして死去勤務先(荒川)で何をしていたのかほとんど記憶にない。毎週水曜日に年休を取り、住職を呼んでお経をあげてもらった。2月下旬の最後の授業の日、通勤途中にブレー キとアクセルを踏み間違えた車に

動することなのだと、ということで日課に3本柱を立てるこ^トとした。①晴れた日の農作業2時間、②ジョギング10km、③尺八の稽古。外に向かう行動ではないがこれから徐々に活動範囲を広げることができればと思つてゐる。

新潟支部 伊與部陽子(12)

雜志

A black and white portrait of a man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a patterned tie. He is looking slightly to his left. The background is dark and indistinct.

昨日は一退職者の山の会」で
守門岳に登り、
さすがに疲れてしまいました。
頂上までは行けませんでしたが晴
天に恵まれて苦しみながらも樂し
い時間を過ごすことができました

私は、10年前、退職後の計画を

何も持たずに毎日が日曜日という

ないし」と言われました。最初は

朝、起きて新聞をゆっくり読んだりお茶やコーヒーを飲んだりする時間が取れるようになると、先輩が言うように、今まで少し気になっていたことを始めてみようかという気持ちになつてきました。また、友人から面白そうな本や映画などを教えてもらい、知らなかつた世界に触ることも楽しみのひとつになりました。また、行きたいと思っていた広島や、海外ではアウシュビッツなどにも行くことができました。社会科の教員でありながら広島に行つたことが無かつたのです。でも、どうせ行くなら現役の時に行つておくべきだつたと後悔しています。職業病でしょうか、自分で体験したことをやつぱり誰かに聞いてもらいたくなっています。聞かされる方は迷惑かもしれません。

るといいのにと思います。

新聞に「学ぶより実践」とありました。もちろん、それを読んだ時は「この年で無理、無理」と思いました。ただ、しばらくして考えてみると、社会生活を送っている限り、「毎日が日曜日のおばさん？お婆さん？」でも、常にどう行動するかが問われているのかも知れません。今日も様々なことが新聞を賑わせてています。



退職から10年

新潟支部 黒川千尋 (12)

毎朝、父の血
糖値の計測と朝
食の準備をすま

所の方からは「毎日大変ですねえ」と声掛けをされます。帰宅後は、週3回自ら自分の健康のためにも往復約1時間の運動は気持ちの良い日課となっています。朝食、家事を済ませた後、地域の仕事や最近始めた畠や趣味等々結構忙しい日々を過ごしています。

退職をしたばかりの頃は、朝ゆ

つくりとしているとか落ち着かないような気持にもなったもので

すが、時間の経過とともに「毎日が日曜日」と言う生活にも慣れていたように思います。4人の子供達も独立をし、第二の人生をどのように過ごそうかと考えていた頃、の様に過ごす事が可能になりました。主人共々少しでも健

明鏡高校は、かつて勤務した経験のある学校で、懐かしい気持ちと伝いをするうちに今年で8年目となりました。

同じ頃に地域のコミュニティ活動に参加しないかと声をかけて頂き、「退職後は地域にも恩返しあたほうがいいんじゃない?」との息子の一言で、お手伝いをすることになりました。現役時は部活指導もあり、家と職場の往復でほとんど顧みることのなかつた地元ですが、コミ協の活動や自治協議会にも関わる機会を頂き、一昨年から野敏、誉田哲也の書を返却し、

がありました。

90歳を越えた両親の介護生活を

通して、自分の残りの人生を考えるようになり、同級生や同じ年代の有名人の訃報に触れる度に自分の人生の終い方を意識するようになりました。主人共々少しでも健

康寿命を長く、沢山の人と関わりながら一日一日を大切に過ごしました。

講師として働く事になりました。

スクリーニング会場である新潟市立

講師として働く事になりました。

1週間で退職して10年目の秋

新潟支部 岛山幹夫 (12)

10月11日：「イ
オンスタイル」

一翼を担う私は
食料品購入の

スープ個々の特徴を見極め、ス

ーパー各所に足を運ぶ。最近、レジの仕様が変わってきて、その違

いに時々戸惑う。

10月12日：「実家」

毎日のよう

に、100歳の父に

会いに行く。専ら話の聞き役だ。

血压・脈拍等みて、体調を確認す

る。つい先日、脈拍が200近く

になり、救急車のお世話をなつた。

この10年の間に子供たちの結婚、孫の誕生など私的にも大きな変化

がありました。

縁があり、健診を行つた。

検査数値を把握した上でアドバイスをしてもらえることは有難い。

筋肉をほぐすこと、体を動かすこと等言われ、耳が痛い。

同日「新潟市図書館ボンボート」

今野敏、誉田哲也の書を返却し、

数ヶ月前に予約した「小説8050」を借り出す。

10月14日：「父の内科通院付添い」

私の車に乗せて行く。乗車時間10分弱。行く時「迷惑かけるねえ」帰つてくると「有難う」と言えます。月2回程の業務。

10月15日：「いわし屋」

毎月1～2回、3～4人が集合し、料理。今回は沖縄そば。粉から打つ。具のラフティーも生肉から作る。ついでに少量のアルコールを、雑談とともに楽しむ。

前回は豚肉、卵等を燻製にした。

10月16日：「ドラッグストア」

猫のご飯とトイレ用砂を買う。

店舗により置く品や価格が異なり、

1店で終わらない。

10月17日：「私の通院1」

67歳時に発覚した症状（病）。

その症状がなぜ起き続けているのか、いまだに原因を追求中だ。

9・15

地公三单産
地公退高齢者
集会記念講演報告



講師・前泊博盛

(沖縄国際大学大学院教授)

「復帰50年・沖縄が問題
う日本の憲法、安保、地位協定—ウクライナ危機と中台問題を踏まえて—」

然と告発している。

「属国」が宗主国に逆らえばどうなるか。属国の政権は短命に、官僚は左遷、政治家はその地位を失う恐怖に震える。

戦前、この国の国民は大日本帝

国憲法と天皇、統帥権、国体に支配された。戦後は「日米安保と米軍」が憲法の上に君臨し天皇、勅語、国体にとつて代わってこの国の国民と主権を掌握・支配しているという。

例えば、米軍の機密漏洩と基地侵入に厳罰を科す「刑事特別法」。

日本政府が負う「民事特別法」。

国有地の無償使用権と返還時の原

状回復請求を放棄させる「国有財

産管理法」。米軍基地建設に私有

財産の強制収用・使用を許す「土

地等使用特別措置法」。次々と本書で例示される事実は読む者の目に痛い。

日米安保と米軍支配は、国民も

国民代表（国会議員）も手を出せ

ない「絶対的な最高の存在」との共同幻想がはびこる。

だから地位協定や思いやり予算

など優遇特権、主権譲歩、免法特

権、主権放棄による対米従属は、

な主要研究論文を駆使し、理路整
駆使し「自発的隸従」国家の実態
を解明し、対米従属者に開眼を迫
る一冊である。日本人は一度勝負
に負けると子々孫々まで勝者の支
配に自発的に隸従する卑屈な国民。
そんな卑屈的な事実を、開示され
た超一級の極秘・機密資料と膨大

隸従」で維持継続されるという。

敗戦による「負け犬根性」の極み
が日米安保支配の根底にある。

「隸従の下」に置くと記す降伏
文書を「制限の下」と誤訳し、敗

戦を終戦に、占領軍を進駐軍に、
平和条約を講和条約と言い換え、

米軍支配の対米従属国家の実態を
ひた隠す。そんな「安保の呪縛」
を解く国民必読の書である。

書評 古関彰一著『対米従属の構
造』(みすず書房、2021年1月
2月) (前泊博盛・沖縄国際大學
教授)

★テキスト・前泊博盛編著「本当
は憲法より大切な『日米地位協定
入門』」(創元社)

1. 主権侵害・主権放棄・民主主義
の否定

日米安保・米軍基地問題のポイント

2. 外交力の低下(対米従属)・軍事
依存

3. 軍事費増・国民負担増(軍需依存)
相

・膨大な建設費・「2兆6500億
円」(沖縄県試算)「大きさ」(防衛
省)→「試算困難」(安倍首相)20
18年12月→9300億円と上方
修正

・航空法違反・米軍基準高度制限ク
リアできず(辺野古弾薬庫、國立
高専)

・長すぎる建設期間・13年間普天間
の危険性を放棄

6. 米兵犯罪被害=法の下の不平等
被害

7. 米経済支配・地域支配

9. 地域発展阻害
8. 戰争巻き込まれ論・マグネット論

辺野古新基地建設強行の真相

(1)「辺野古基地は、米軍の名を借り
た自衛隊新基地建設」(保守市長)
(2)「普天間代替機能の欠落」「狭す
ぎる」「汚職」(小川和久・軍事アナ
リスト)

(3)辺野古基地建設の困難さ

・軟弱地盤・7万7千本の砂杭水深
90メートルの実績なし・活断層・
辺野古周辺の活断層の危険性

・18年12月→9300億円と上方
修正
・航空法違反・米軍基準高度制限ク
リアできず(辺野古弾薬庫、國立
高専)

・長すぎる建設期間・13年間普天間
の危険性を放棄

・環境破壊・サンゴ7万4000群
落の移植不可能→8群落を移植、
ジユゴン危機

- 2. 沖縄「復帰50年」～現状と課題、そして展望**
- ① 「復帰」とは・・・祖国復帰→本土復帰→日本復帰→日本返還→沖縄返還？
 - ② 返還されたのは・・・領土、領海、領空、国民、資産、施政権？
 - ③ 沖縄にとつて日本は「祖国」か・・・琉球王国、薩摩の琉球侵攻、明治の「琉球処分」
 - ④ 沖縄戦の悲劇はなぜ起きたか・・・「軍は民を守らない」
 - ⑤ なぜ沖縄は米国統治下に切り捨てられたか・・・「天皇メッセージ」「國体護持」「日本防衛」
 - ⑥ 米国はなぜ沖縄を占領したか・・・「沖縄は日本にとつてExplicableな存在」(G·H·Kerr)
 - ⑦ 復帰に求めたものは何か・・・「日本国憲法の庇護の下へ」→「核抜き・本土並み」返還→「基地のない平和な沖縄」
 - ⑧ 「復帰」がもたらした「本土並み」・・・自衛隊沖縄配備、日米安保、地位協定の沖縄適用
 - ⑨ 振興策の限界と可能性＝ザル経済を超える、3K依存経済から新10K経済へ

3. 日米安保体制と日米地協定（旗国法原理）

- ① 占領から講和へ・・・サンフランシスコ講和条約と日米安保条約
- ② 講和の条件は『米軍駐留継続』
- ③ 駐留軍特権＝日米地位協定による国内法適用免除

④ 「占領軍」から「駐留軍」へ：
日米安保体制とセット

⑤ 「地位協定」の矛盾
イラク、ジープチと結んだ自衛隊

⑥ 他国地位協定の壁・・・クエート、アユニオン

⑦ 普天間返還・辺野古新基地建設問題の行方

⑧ 沖縄は今年復帰50年を迎えた。「平和憲法のもとにある日本」への復帰を求めて闘い続けてきた県民の願いは半世紀を経ても成就していない。日米地位協定が

⑨ 沖縄戦の悲劇はなぜ起きたか・・・「軍は民を守らない」

⑩ なぜ沖縄は米国統治下に切り捨てられたか・・・「天皇メッセージ」「國体護持」「日本防衛」

⑪ 米国はなぜ沖縄を占領したか・・・「沖縄は日本にとつてExplicableな存在」(G·H·Kerr)

⑫ 復帰に求めたものは何か・・・「日本国憲法の庇護の下へ」→「核抜き・本土並み」返還→「基地のない平和な沖縄」

⑬ 「復帰」がもたらした「本土並み」・・・自衛隊沖縄配備、日米安保、地位協定の沖縄適用

⑭ 振興策の限界と可能性＝ザル経済を超える、3K依存経済から新10K経済へ

な問題は先送り

⑥ 秘密主義の壁・・誰も全体像を把握できないプラックボックス

⑦ 米国依存の壁・・日米安保神話＝いざとなつたらアメリカが助けてくれる

⑧ 他国地位協定の壁・・クエート、イラク、ジープチと結んだ自衛隊

⑨ 普天間返還・辺野古新基地建設問題の行方

⑩ 沖縄は今年復帰50年を迎えた。「平和憲法のもとにある日本」への復帰を求めて闘い続けてきた県民の願いは半世紀を経ても成就していない。日米地位協定が

⑪ 「復帰」がもたらした「本土並み」返還→「基地のない平和な沖縄」

⑫ なぜ沖縄は米国統治下に切り捨てられたか・・・「天皇メッセージ」「國体護持」「日本防衛」

⑬ 米国はなぜ沖縄を占領したか・・・「沖縄は日本にとつてExplicableな存在」(G·H·Kerr)

⑭ 復帰に求めたものは何か・・・「日本国憲法の庇護の下へ」→「核抜き・本土並み」返還→「基地のない平和な沖縄」

⑮ 「復帰」がもたらした「本土並み」・・・自衛隊沖縄配備、日米安保、地位協定の沖縄適用

⑯ 振興策の限界と可能性＝ザル経済を超える、3K依存経済から新10K経済へ

盾にする

② 中台危機の行方・・日米は台湾を守らない

③ 戰場とならないために市民がで

きること・・理性的な政治家を選ぶことetc

（講演レジュメ）

※集会宣言（案）の原案に追加、挿入（太字部分）

・・・沖縄は今年復帰50年を迎えた。「平和憲法のもとにある日本」への復帰を求めて闘い続けてきた県民の願いは半世紀を経ても成就していない。日米地位協定が

憲法より上位にあるかのごとく、辺野古新基地建設工事が強行され

辺野古新基地建設工事が強行され

こうした中で闘われた沖縄県知事選挙は9月11日投票の結果、玉城デニー現知事が34万票を獲得して2位の自公候補に6万票差で勝利した。県民の賢明な選択に敬意を表すとともに私たちがこれからも沖縄県民と心と力を合わせて運動を進める。

（石野）



渡辺治さん
一橋大学名誉教授・九条の会事務局

△講演△
「改憲は阻止できる
今こそ市民の大運動を」

■はじめに
参院選後、岸田政権は国葬、さらに統一協会問題で改憲の出鼻をくじかれたが、改憲、軍拡を諦めるどころか、ほとぼりを冷まして強行を狙っている。岸田政権は、なぜ改憲・9条破壊を押し進めるのか、改憲策動のねらいは。参院選はどうしてあのような結果になつたのか。私たちは、改憲・9条破壊にいかに立ち向かっていけばいいのか考えていきたい。

2022年9月19日、ユニゾン・ラザ多目的ホールにおいて、9条改憲NO/N全市民アクション@新潟の主催で憲法学習会が開催されました。(講師は渡辺治さん(一橋大学名誉教授)以下に講演要旨を掲載します。)

■岸田のめざす改憲・9条破壊は戦後最大規模、そのねらいは?

岸田の進める改憲の出発点は安倍政権。

運動の力で自衛隊の活動は9条により縛られてきた。自衛隊違憲の声に政府は、自衛隊が9条の禁止する「戦力」でないと強弁してきた。「自衛隊は軍隊ではない」

「自衛のための必要最小限度の実力だ」と。多くの反対の声に、制約を設けた。侵略されてからの反撃、先制攻撃はしない、海外派兵禁止、集団的自衛権行使の禁止など。しかし、90年代以降、アメリカの圧力により海外派兵を行う。しかし制約は続く。

安倍政権は、自衛隊の活動に対する9条の制約打破を狙った。2014年に解釈改憲で集団的自衛権行使禁止の打破、2015年安保法制成立の强行。

その戦争する自衛隊をも含憲とするために、安倍は統いて明文改憲に踏み込んだ。しかし、安倍の勢いはここまで。明文改憲の企図は市民と野党の共闘の力で挫折する。

を転換した。

さらに、バイデン政権による軍事同盟網の強化路線で日米軍事同盟、安倍が強行した集団的自衛権が一層危険なものになつた。バイデンのねらいは日米軍事同盟を中心とした軍事対決の要にすること。

菅政権は対米約束を果たすため、9条破壊を加速した。

岸田政権は、安倍・菅の宿題、アメリカの強い圧力の二重の要請を受け、改憲を加速する。岸田は、最初の難関、衆院選で市民と野党の共闘の挑戦を退け、明文改憲と軍拡、敵基地攻撃能力保有などをクリマの両輪で狙う。選挙後、改憲・9条破壊の加速化。ウクライナ侵略は加速化を促すまたとない事件となつた。専守防衛の抜本転換となる敵基地攻撃能力保有を「反撃能力」と置き換え、防衛費を対GDP比2%（実質装備費3倍）と一大軍拡に乗り出した。

岸田にとつてもう一つのハードルが参院選、改憲、大軍拡の合意の体裁、改憲発議に必要な2/3を参議院でも確保、共闘は破壊された。

■参院選はどうしてあのような結果になったのか?

参院選の結果、自民党は55議席から63議席へと議席増、改憲4党は56議席、発議阻止の1/3議席を確保できず。立憲、改選議席の6議席減、共産党も議席減、両党は21年衆院選から比例得票率、得票数とも減少した。

参院選はどうしてこのような結果に終わったのか。3つの要因がある。

自民党的議席増は、1人区における自民党議席確保主力。直接の要因は共闘の破壊だが。悪政の連続にもかかわらず自民党票があまり減らなかつた。その前提として多くの1人区での自民党的高得票率維持。アベノミクス「第2の矢」の財政出動が、コロナ禍でも続き、「仕方のない支持」が維持。安倍銃撃事件で、最終盤、自民党への得票が5ポイント上昇した。

野党共闘が極めて限定的であつたため共闘効果出ず。共闘に消極的な立憲民主党に、自公政権に不満な市民が不信と落胆。21衆院選の指導部交代、共闘路線見直し。

32の1人区全てで候補一本化した16、19参院選と違い、1人区11しか一本化できず実質的共闘は、青森、長野、沖縄などに限られ、共闘できたところでも不充分。立憲民主党の歴史的得票減。共産党後退の原因は、共闘に献身してきたため、共闘の不調で支持者、活動家が元気減退。共闘の蝶番としての立憲野党の中での共産党への役割期待が薄れた。選挙後の共同通信の世論調査では立憲4党支持者の6割以上が野党一本化望む。ロシアのウクライナ侵略に乗じた自民、維新の安保・防衛力強化キヤンペーン。自民党は、政策の重点を一変、安保・防衛を前面に、外交・安保が、選挙で政党を選ぶときの政策の上位に。対する立憲野党は、足並み揃わず。立憲は「9条に基づく平和」を後退。立憲民主党は、「生活安全保障」の3つの柱の第3に「着実な安全保障」。「反撃能力」にも反対せず。そもそも政策パンフに「立憲主義」という用語がない。

2つの教訓として、自公政権に対決する共闘の再建強化と選択肢の提示、日本とアジアの平和の確保実現に対する「9条に基づく平和」の方向での訴え。

■改憲、9条破壊にいかに立ち向かうか？ 改憲は阻止できる

重大な局面に入った改憲策動。衆院に続き参院でも、改憲政党が発議に必要な2／3を大きく上回る議席。維新の会、国民民主党の扇動を利用して、憲法審査会の慣行が急激に改変。

改憲、9条破壊政治の矛盾。改憲発議は阻むことができる。国民は改憲、9条改憲に同意していない、国民は迷っている。改憲賛成が増えているが動搖。朝日新聞世論調査で改憲賛成は増えても、同じ調査で9条改憲については反対多数。ところが、同調査で9条への自衛隊明記改憲は多数。集団的自衛権行使賛成が多数、しかし

改憲の中心9条への自衛隊明記については、自民党、維新の会のみ、緊急事態条項についても、自民と維新のみで、公明は選挙公約でも消極、国民は積極的大が政策には書いていない。運動が盛り上がり、公明、国民は動搖する。そう簡単にまとめさせないことが可能だ。改憲反対、9条壞すな市民の大運動次第で改憲発議を阻むこと可能。

軍事同盟強化では日本とアジアの平和は実現できない。ウクライナの教訓とは、自分の国は自分で守る、軍事同盟強化の必要ではない。日米軍事同盟強化では米中軍事対決のエスカレート、武力による解決遠のく。

では、どうやって日本とアジアの平和を実現するのか。9条に基づく平和の実現。戦後日本77年にわたる平和はなぜ維持されたのか。アジアで戦争も虐殺もないのは日本だけ。

今、直ちにやることは、改憲発議を許さない市民の大運動。改めて改憲発議阻止に焦点合わせた運動、大事なことは、9条を躊躇する大軍拡と明文改憲との両方に立ち向かうこと。改憲4項目、特に9条への自衛隊明記と緊急事態条項の危険性の批判を自民党が狙う9条への自衛隊明記、緊急事態条項の危険性を徹底して訴える。

戦後日本が平和だったのは、安保条約+自衛隊のおかげか、憲法の力か。戦後日本では、日本が戦争に巻き込まれる、2つの事態（北方領土、尖閣諸島などの領土問題とベトナム戦争、湾岸戦争などの海外派兵）のいずれにも9条

の制約が働いた。憲法の制約で領土紛争に自衛隊出ず、集団的自衛権が発動されなかつたから。

しかし、万一一、中国が攻めてきたら9条なんて役に立たないと言ふ人がいる。戦争や侵略はある日突然起るものではなく、長い政治的対立の帰結でしかない。万一是防ぐことができる。9条は、万一一にでも攻めてこさせない日本とアジアを作ることを政府に義務付けている。日本が「万一一」戦争に巻き込まれる2つの危険は、台湾有事への集団的自衛権の発動と尖閣武力衝突。今まででも9条は集団的自衛権の発動を抑えてきたし、抑えることが可能。安保法制を廃止すること。

（内山）



2022年度教育玄
よくする新潟県民会
議講演 講師・打越
さく良(参議院議員
・弁護士)

「子ども家庭庁設置のねらいと今後の課題」

□子ども家庭庁

・子ども政策の司令塔となる「子ども家庭庁」を創設する関連法(「子ども家庭庁設置法」、「子ども基本法」)が今年の6月15日の参院本会議で可決、成立した。他省庁への勧告権を持つ子ども家庭庁が2023年4月に内閣府の外局として発足する。

・子ども家庭庁は首相の直轄組織で、専任の閣僚や長官を配置する。厚労省や内閣府の子ども関係の部局はほとんどすべてを新組織(子ども家庭庁)に移管する。厚労省所管の保育所と内閣府の認定こども園を担う一方で、幼稚園や義務教育などの教育分野は変わらず文科省が担当する。

□子どもの実態

「子どもをめぐる状況」・子どもの貧困率は7人に1人・特に、ひ

とり親世帯の貧困率は2人に1人・ヤングケアラーは中学生17人に1人・2021年度公立学校の教職員で懲戒処分を受けた人數 体罰393人、児童生徒に対する性犯罪・性暴力96人。

「親ガチャ・家庭環境により学力や育ちに格差」・ひとり親世帯の大学進学率「2016年58・5%」・全世帯平均1990年代前半・児童養護施設出身者の子どもの大学進学率「2019年33・1%」・全世帯平均1970年代前半・生活保護世帯の子どもの大学進学率「2020年37・3%」・1974・75年」(4月21日参院厚労委員会・答弁)

□自民党と旧統一教会
「自民党・教育再生会議(家庭教育責任論)・公的責任の縮減、公的責任を回避」・自民党が目指している家庭教育支援法案(国が家庭教育の基本方針を定める法律)・子ども家庭庁を選んだ政治家の意識「第1次安倍政権の教育再生会議にかかわりのある『親学推進協会』の高橋史朗会長が講演し、「子ども家庭庁に改めるべきだ」と主張した」(21年12月8日自民党青少年健全育成推進調査会)

「旧統一教会系組織の反応」・岡山県家庭教育応援条例2022年可決(世界日報2022年4月15日)・「心有る議員・有識者の尽力によって、子ども政策を一元化するために新しく作る組織の名称が「子ども庁」から「子ども家庭庁」になりました」「当初は「子ども家庭庁」という名称だったが、被虐待児にとって家庭は安全な場所ではないという理由で『家庭』の文字が削除されてしまった。この論法は明らかにおかしい・・・」(世界思想1月号)

□打越さく良さんの質問と今後の課題

(5月18・19日参院内閣委員会、6月2日参院内閣厚労合同審査等)

□打越さく良さんの質問と今後の課題(5月18・19日参院内閣委員会、6月2日参院内閣厚労合同審査等)

打越質問

「子ども基本法案附則5条「5年内に必要な措置を検討」は曖昧。根拠法にならない。自民党内のブルックボックスの議論で封じられた。支援の現場の声や国際スタンダードに則った決断を。

打越質問

「子ども基本法案附則5条「5年内に必要な措置を検討」は曖昧。根拠法にならない。自民党内のブルックボックスの議論で封じられた。支援の現場の声や国際スタンダードに則った決断を。野田大臣 国会での審議を受け止めて・・・と説明し、講演を結んだ。(石野)

「子ども家庭庁の除外にしないでほしい」などの意見に「子ども家庭庁」は文科省や法務省に勧告するか。野田大臣答弁

『活動日誌』・点描

■2022年度議案書面表決の結果を支部へ報告（7月22日） ■事務局会議（7月29日） ■事務局会議（8月3日）『通信143』編集会議 ■「安倍元首相の国葬反対の意見書」を岸田首相に送付（8月5日） ■県北豪雨災害について新発田・村上支部長に問合せ（8月7日） 今のところ会員に被害なしの返答に安堵 ■事務局会議（8月24日）編集会議（再校） ■事務局会議（8月31日）『通信143』発送準備作業 ■教育をよぐする県民会議幹事会／第11回総会学習会（8月31日）幹事に木村会長／学習会「こども家庭庁設置のねらいと今後の課題について」打越さくら（参議院議員・弁護士） ■沖縄県知事選に関して沖縄県退教と沖縄高退教に激励FA X・カンパ送付（8月31日） ■『新高退通信143』発送（9月7日） ■「国葬」反対！緊急市民集会（9月10日）賛同39団体／新潟駅前～古町までデモ 新高退参加14人 ■事務局会議（9月14日） ■全国高齢者集会／事務局でYouTube参加 ■地公3単産・

地公退高齢者集会（9月15日）石野参加／記念講演「復帰50年・沖縄が問う日本の憲法、安保、地位

「この人は今」

い自民党の廻りをさまようように

協定トウクライナ危機と中台問題を踏まえて」前泊博盛（沖縄国際大学教授） ■改憲反対9条壊すな改憲発議の阻止をめざす新潟

県民集会（9月19日）『改憲は阻止できるーいまこそ市民の大運動を』渡辺治（一橋大学名誉教授） ■事務局会議（9月28日） ■事務局会議（10月5日） ■事務局会議（10月12日）「狹山事件3次再審請

求事実調べ」を求める署名を提出 ■5者合同会議（10月13日）不参加 ■日退教組織活動交流集会（10月14日）木村参加 ■事務局会議（10月19日）「現退交流会の開催について（お願い）」を発出（石野）

前泊博盛氏講演 前泊氏の講演を前に聞いた事があり、著書も何冊か読んだが、琉球新報の論説委員長まで務めた人だけあって、知識は豊富だし、調査報道により立て板に水の如きなめらかで分かりやすい話しつぶりが心地いい人だ。

この講演要旨は石野さんが日退教の地公3単産・地公退高齢者集会で生の声を聞いてきたもの。

（括弧内は現職退職年）

毛利 保 さん（90）
田村 克也 さん（02）
村山 耕司 さん（87）
中島 真皓 さん（01）
細野 三三 さん（97）

（上越支部）10・12
（長岡支部）10・11
（上越支部）10・15

編☆集☆後☆記

退職後10年の小さな自分史

渡辺治氏講演

加入後1年で「退職後10年」となった仲田さんが原稿の代わりに表紙を飾る作品を投稿してくれた。原稿は6人から頂いたが、それぞれ退職後に家族ケアや社会貢献をしていることに敬意を表したい。

前魚沼事務局長太田さんから3回にわたってご自身が関わってきた塩沢歌舞伎について語って頂いた。忙しい農作業の傍ら、無理なお願いを聞いて頂き無事に完結した。コロナ禍にあって編集上からも非常にありがたかった。

1ページの仲田さんの写真、最終回となつた太田さんの添付写真をカラーページでお届けするために変則的な割り付けとした。

コロナ禍がもたらしたものに、会議や集会をリアルとリモートで併催するスタイルが定着したことがある。私はワクチンを打たないからリモート参加が、コロナ感染のリスクを減らせるし、時間と交

通費節約の点でも便利だ。（内山）

◆ノーベル文学賞候補作品の主人公の故郷は塩沢？』
長い活動の中では思いがけない出会いもあります。2016年10月にベルリン自由大学の福沢准教授から一通のメールが届き、ドイツ映画作りに協力することになったのです。「雪舞台」で演じる歌舞伎「菅原伝授手習鑑寺子屋」を映画化したいという要請でした。

「雪舞台」「寺子屋」は塩沢歌舞伎のシンボルのようなものですから喜んで協力する旨返答しました。ところがこの年は12月末まで雪が全く降らず「雪舞台」での「寺子屋」は中止となりましたが、映画作りの真の狙いが「『北越雪譜』の世界の映像化」にあると知つて全面的に口頭協力をしました。ドイツでも有名な『北越雪譜』に魅せられたオッテンガー監督(写真1)が独自の視点と感性でその世界を映像化し、日独友好150周年

年記念イベントで公開するという企画でした。11月9日にロケハンで来日されたのが何とドイツ在住の芥川賞作家多和田葉子さんだつたのです。阿部会長と当時事務局長の私とで越後湯沢駅に出迎え、川端康成『雪国』の高半ホテルのロビーで日程の打合せをした後、3日がかりで南魚沼市内中心にロケ地探しをしました。多和田さんは気さくな方で中日の10日には私が非常勤講師をしていた六日町高校の2学年の3クラスに特別授業(写真2)までしてくれました。

撮影隊の来日は12月27日までの25日間、一日も休む間がなくエネルギーで映像化したいという要請でした。多和田葉子さんは、『北越雪譜』の世界の映像化に熱心で、映画作りに協力することになりました。ロケ地は南魚沼市のみならず十日町市・津南町・魚沼市、さらには佐渡市及び岐阜県瑞浪市

◆「自立・自前・手作り」の道
『新たな出会い：美濃歌舞伎相生座・東北電力・三条市』
保存会結成18年目の2018年に塩沢歌舞伎は大きな転換期を迎えます。「自立・自前・手作り」という厳しい道を歩み始めたのです。当然独り立ちの是非を巡つて意見は紛糾し一時は分裂・解散の

魚沼支部 太田喜一郎 (08)
◆ドイツ映画ロケとの出会い
ノーベル文学賞候補作品の主人公の故郷は塩沢？』
長い活動の中では思いがけない出会いもあります。2016年10月にベルリン自由大学の福沢准教授から一通のメールが届き、ドイツ映画作りに協力することになったのです。阿部会長と当時事務局長の私とで越後湯沢駅に出迎え、川端康成『雪国』の高半ホテルのロビーで日程の打合せをした後、3日がかりで南魚沼市内中心にロケ地探しをしました。多和田さんは気さくな方で中日の10日には私が非常勤講師をしていた六日町高校の2学年の3クラスに特別授業(写真2)までしてくれました。

撮影隊の来日は12月27日までの25日間、一日も休む間がなくエネルギーで映像化したいという要請でした。多和田葉子さんは、『北越雪譜』の世界の映像化に熱心で、映画作りに協力することになりました。ロケ地は南魚沼市のみならず十日町市・津南町・魚沼市、さらには佐渡市及び岐阜県瑞浪市

この人は今 その3



れました。来年春に『雪にうもれて』の日本語字幕版が東京で公開される計画があると聞いています。監督と多和田葉子さんも来日されれば、南魚沼市再訪と公開の夢が叶うかもしれません。

一昨年多和田葉子さんがノーベル文学賞の候補に挙げられたとい

うビッグニュースが届きました。さらに驚いたのは、対象作『地球にちりばめられて』の主人公Hirukoの故郷が「北越」「雪舞台」で歌舞伎を楽しみ」「道路から吹き出る温水で雪を溶かすハイテクな村」などと設定されていることです。もし将来多和田葉子さんが日本人3人目のノーベル文学賞作家になれば『雪国』「雪中芝居の郷」である魚沼地域が小説の聖地巡りの郷になるかもしれません(笑い)。

こうした方針で具体的に取組んだのは次のようなことです。

第一は 定式幕・背景の絵(写真4)・基本となる大道具・必要な小道具などの手作り

第二は 義太夫(写真5)・下座・ツケ・化粧などが自力ででき

るよう勉強する

第三は 地元の伝説や歴史の歌舞伎化(写真6)・や人情時代劇・狂言などのオリジナル作品の創作

嬉しいことに「自立・自前・手作り」への道から新たな出会いも生まれました。その一つがドイツ映画作りで助けてもらった岐阜県瑞浪市の美濃歌舞伎「相生座」です。本番用の衣裳・鬘・小道具を安価で貸していただくだけでなく、手作りのノウハウやピンチを乗り越えるアイデアなど多くの勇気を頂いています。二つ目は東北電力助成金制度「東北・新潟の活性化応援プログラム」との出会いです。



写真1



写真2



写真3



写真4

「地芝居を、老若男女誰でも参加でき・楽しく誇れる伝統文化として蘇らせる」という主旨が評価され、何と新潟・東北7県のトップの「特別助成団体」に選ばれ、念願の白波五人男の本番衣裳（写真7）を揃えることができました。

今後の普及活動の目玉となる衣裳で、大いに活用が期待されます。三つ目は三条市との出会いです。三条市役所文化財係の皆さんのが中心となって旧下田村の中浦歌舞伎資料の発掘調査と文化



写真5

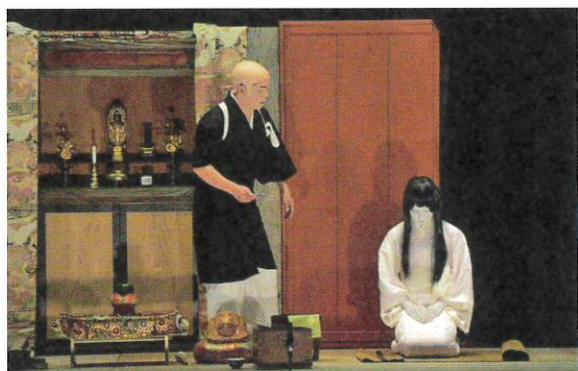


写真6



写真7

最終ページをカラーとするために、初めての試みで、通常と異なる割り付けとしました。

(内山)

財指定をやり遂げ、再興を夢見て地元小学校でワークショップを実施し、塩沢歌舞伎も協力しましたが、市を挙げての取組みと熱意には大きな勇気をいただきました。

◆おわりに「新高退通信」との出会いに感謝!

このたび思いがけず「新高退通信」の貴重な誌面に3回にもわたって「22年のあゆみ」を書かせていただき感謝しています。「奇蹟の

出会いとつながり」がまた一つ増えました。
22年という歳月は一方で深刻な高齢化と会員不足にもつながっています。新たな会員の加入が望まれますが現実はごくわずかです。
「自立・自前・手作り」の道も難所だらけですが、若い会員たちの新しい発想を繰り入れながら「できないことを嘆かず、少しでもできることを積み重ねて前に進もう」としています。ありがとうございました。

出会いとつながり」がまた一つ増えました。